

「10周年ありがとうクリスマス会」 29年12月11日(月曜日)

わくわく館は来年1月11日で10才の誕生日を迎えます。たくさん来てくれたみなさんへ感謝の気持ちをこめて、今年は特別なクリスマス会を開きました。当日は悪天候にもかかわらず、46組100人という今年度1番の参加者数になりました。館長による「わくわく館を利用してくれたたくさんの人に支えられて10周年を迎えられた」という挨拶を皮切りに、10周年クリスマス会の開幕です。今回は特別に素敵なゲストをお招きして盛り上げて頂きました。子育て中のお母さんバンド「ウィンドアンサンブルPONY」さんによる素敵な曲のプレゼントです。お馴染みのクリスマスソングに振りを付けたりパープサートを見ながら、生演奏に乗せて楽しく豪華に歌いました。自分で作ったマラカスを使った「おもちゃのチャチャチャ」は、会場が一体となった素敵な合奏になりましたね。くす玉割りは、たまご回しゲームで当たった親子に紐を引いてもらいました。わくわく館の誕生をイメージしたたまごの形のくす玉が見事2つに割れると「わあ〜！」と大きな歓声が上がりました。フォークダンスで親子仲良く踊っていると、曲の途中でサンタさんが登場しました。なんと今年は日高町のご当地キャラクター「とねっこくん」がそりを引いて来てくれる特別バージョンです。子ども達とはつぜん現れた大きなお馬さんに驚いていましたが、慣れてくると手を振ったり触ってみたい。さて、サンタさんからプレゼントをもらった時は上手に「ありがとう」が言えましたか？きよしこのよるを歌って閉会した後はサンタさんととねっこくんと一緒に記念写真を撮りました。会場を鮮やかに飾った作品は、わくわく館に遊びに来てくれた親子が楽しみながら作った物です。小さなサンタランドや浮かび上がるような黒紙の絵はとも綺麗でした。うちわやメッセージボードも、10年分の写真で作られたヒストリーも、来館者の皆さんの協力があってこそそのものです。ヒストリーを見つめながら10年を懐かしむお母さんの話からは、わくわく館を大切に思っている事がひしひしと伝わり、心が温かくなりました。10年分の親子の笑顔が詰まった掲示物は、現在もわくわく館の廊下に展示しておりますので、是非見いらしてくださいね。



わくわく館からのお願

子どもがお友達と遊べる年齢になると、お母さんが近くにいなくても大丈夫だと思いがち。「転んだり、小さな怪我はいつものことなので大丈夫」という声も聞かれます。しかし、見ていなくてもいい訳ではありません。転んだ時によその子を巻き込んだら？おもちゃが当たって怪我をさせてしまったら？見ていない間に何か起こるか分からないのが子どもの世界です。問題が起こったとき「結果こうなってしまった」と言う場面だけで、理由もうまく話せない小さな子が叱られてしまうのは悲しい事です。悔しい気持ちやしたかった気持ち、色んな気持ちを受け止めてもらいながら成長していくのはとても大切です。お母さんとお子さんが安全に過ごすために、わくわく館という公共の場の使い方を今一度考えてみて下さい。“しつけの場”や、就学・入所などの集団に入る前の“練習の場”として使って欲しいのです。あくまでもお子さんをお預かりする施設では無いのでスタッフは基本託児をしません。子どもやお母さんの交流・仲間作り、子育ての悩みや不安などにはいつでも一緒に考え、協力します。どうぞわくわく館の利用の仕方をご理解頂いた上、皆が気持ちよく過ごせるようにご協力をお願い致します。また、サークル活動においても使い方は同じです。子ども同士で遊んでいると、つい目が離れがちですが、子どもを介しての交流を心がけるよう重ねてお願い致します。

節分に向けて

2月1日(木)はわくわく館の節分の会です。1月15日(月)から、その節分の会で使う福袋用の紙袋を作る期間に入ります。わくわく館開放時間内の都合の良い時に、お子さんと一緒に自分だけの紙袋を作りましょう。

～1月の子育て講座～

1月18日(木曜日)「子ども救急講習会」 講師 富川消防署 救急隊員 開場 9:30 開始 10:00
申し込みは随時受け付けています。 ※お子さんと一緒に参加することが出来ます※